

横浜市立大学精神医学教室OB会人材活用委員会 (OB人材バンク) 細則

(目 的)

第1条 この細則は横浜市立大学精神医学教室OB会会則第3条に従い、会員と会員関連医療機関等相互の扶助のために人材の有効な活用を目的とする。

(委員会の設置)

第2条 前条の目的を果たすためにOB会人材活用委員会（以下OB人材バンクという）を置く。

(事 業)

第3条 OB人材バンクは以下の事業を行う。

OB人材バンク担当役員（以下担当役員という）は登録した会員と診療所・病院両者の仲介をする。

(会員と診療所・病院等の登録)

第4条 会員の希望または了解を受け、OB人材バンクに会員登録することができる。

第5条 会員が関与する診療所・病院が不測の事態と通常診療等のため医師を必要とするときに、OB人材バンクに医療機関として登録することができる。

第6条 会員は希望する勤務形態・勤務地・収入額等を、医療機関は希望する勤務形態・勤務条件等を所定の様式に従い記載し、OB人材バンクに提出する。

(OB人材バンク担当役員)

第7条 OB人材バンクは以下の役員から構成され、その役割を果たす。

1. OB会会長（以下会長という）及びOB会役員（以下役員という）2名の3名から構成される。
2. 会長はこの活動を統括し代表する。
3. 担当役員は役員より互選され、会長を補佐し、会長不在の場合は代行する。

4. 相互扶助を目的としており、担当役員は権力的となったり個人的に金銭等を授受することは認められない。

(運 営)

- 第 8 条
1. 会長がこの委員会を代表して登録を受理し、担当役員と適宜連絡・協議して運営する。その利用状況についてはOB会役員会及び総会にて報告する。
 2. 勤務上問題が生じたときは、先ず両者がその解決に向けて努力することを原則とする。ただし、状況により担当役員は当事者から依頼を受け、契約見直し・破棄等に介入できる。

(費 用)

- 第 9 条 担当役員の運営費用と必要経費（実費・交通費等）はOB会予算より支出する。

(細則の改定)

- 第 10 条 この細則の改定は総会の出席会員の過半数の同意を得なければならない。

付 則

(施行期日)

- 第 1 条 本細則は平成 21 年 9 月 12 日より施行する。